

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公開番号】特開 2003-229791 (P2003-229791A)
【公開日】平成 15 年 8 月 15 日 (2003.8.15)
【出願番号】特願 2002-25649 (P2002-25649)
【国際特許分類第 7 版】
H 0 4 B 3/04
【F I】
H 0 4 B 3/04 A

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 1 月 17 日 (2005.1.17)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 1
【補正方法】変更
【補正の内容】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えば共同聴視システムにおいて、同軸ケーブルを伝送されることによって周波数特性に変位が生じている高周波信号の周波数特性を改善するイコライザ（等化器）に関する。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 3
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 3】

図 2 は、従来使用されていたイコライザ回路を示したものである。従来のイコライザ回路は、T 型抵抗減衰器 2 を含んでいる。この T 型抵抗減衰器 2 は、入力端子 4 と出力端子 6 との間に直列に接続された第 1 及び第 2 の抵抗器、例えば抵抗器 8、10 を有している。これら抵抗器 8、10 の相互接続点と、基準電位点、例えば接地電位点との間に第 3 の抵抗器、例えば抵抗器 12 が接続されている。これら抵抗器 8、10、12 は、例えば同じ値の抵抗値を有している。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】図面の簡単な説明
【補正方法】変更
【補正の内容】
【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の 1 実施形態のイコライザの回路図である。

【図 2】

図 1 のイコライザ及び従来のイコライザを広帯域化したときの周波数特性図である。

【図 3】

従来のイコライザの回路図である。

【図 4】

図 3 のイコライザの周波数特性図である。

【符号の説明】

- 2 T型抵抗減衰器
- 8 1 0 1 2 抵抗器
- 1 4 直列共振回路
- 2 0 並列共振回路
- 2 6 2 8 コンデンサ（容量手段）